

させほ夢大学

発行●公益社団法人 させほ夢大学
編集委員会
事務局 / 〒857-0863
長崎県佐世保市三浦町4-30・松蔵ビル3F
TEL.0956-25-9555 FAX.0956-25-9545
http://www.yumedai.com/
E-mail:sasebo_yumedai@yahoo.co.jp

開催ご案内 25-9556

夢のつづき

させほ夢大学会報

No.273 (2018・10)

平成30年度
第6回

2018年 **10月18日(木)**

アルカスSASEBO 大ホール

●開 場 午後5:30

●講 演 午後6:30

今回は、フルート奏者の山形由美さんをお迎えます。

山形さんは東京都のご出身。東京藝術大学音楽学部器楽科でフルートを専攻し、卒業後に英国に留学。野口博司、故小泉剛、サー・ジェームズ・ゴールウェイなどの諸氏に師事されました。

1986年デビューCD発表以降、2000回を超える公演や放送に加え、全国主要オーケストラ、多くの海外楽団との共演を行い、これまでに13枚のCDを発表されています。

豊かで美しい音色、確かなテクニックに支えられた演奏と、温か



な人柄とが相まって多くのファンを得てこられました。また、テレビ・ラジオへの多くの出演を通じてフルートに対する人々の関心を広く集め、フルート愛好者を増やすことに大きな貢献をされています。

演奏会、尚美学園大学客員教授、執筆活動などの合間をぬって、音楽のある豊かな生活を楽しんでいる山形さん。「フルートの音色で人と人を結ぶ」というテーマの今回の講演の中で、どんなお話が聞け、どんな音色のフルートが、私達に語りかけてくれるのでしょうか。楽しみです。

やまがた ゆみ

講師 ● フルーティスト **山形 由美氏**

テーマ ● ふれあいコンサート フルートの音色で人と人を結ぶ

今回、「夢のひろば」はありません。



次回のご案内

- と き / 11月4日(日) 午後1:30~3:00
- 講 師 / ジャーナリスト いけがみ あきら
東京工業大学特命教授 **池上 彰氏**
- テーマ / 新聞からニュースを読み解く

●1950年長野県松本市生まれ。慶應義塾大学経済学部卒業後、1973年NHKに記者として入局。松江・広島放送局を経て1979年東京報道局社会部で事件・事故・災害・消費者問題・教育問題取材。1994年「週刊こどもニュース」キャスターを担当し注目を集める。2005年独立しフリージャーナリストに。現在はテレビ、新聞、雑誌、書籍など幅広い分野で活動、名城大学等7つの大学で「教養」も教える。「そうだったのか!現代史」「伝える力」「学び続ける力」など著書多数。

山形由美氏のプロフィール

●東京藝術大学卒業。英国留学を経て鮮やかにデビュー。以来2000回以上の公演を重ね、TVやラジオでも活躍中。デビュー30周年を迎えた2016年は、セルフ・プロデュースCD第3弾となる「Eternally~永遠のジゼル~」(レコード芸術特選盤)の発表、記念ツアーで注目を集め、パリ公演では大成功を収めた。尚美学園大学客員教授。都内にフルートサロン「メゾン・デュ・リエール」をオープンし、講座や個人レッスンをとおして、音楽のある豊かな暮らしを提唱している。





辛坊治郎氏

年金の危うさ

西松浦郡有田町 庄村 雅子

ジュニアオーケストラの皆さんの演奏は連日の猛暑を吹き飛ばすよう、爽やかな音色は一服の清涼剤のように感じました。

辛坊さんのお話、特に現在の年金制度が若い人への負担率が多いのは知っていましたが、この先、少子化で若い人が少なくなると、益々負担が増え、安心して暮らしていかれるかとても心配です。私達の若い頃は携帯もパソコンもなく、今ほどお金はかからずに生活していたように思いますが、さらに寿命が伸びて長生きすれば、年金は破綻しなくとも大変になりそうです。国は、今ここで原点に戻り、年



■立て板に水とは辛坊氏のための形容詞か。その上、面白おかしく人を笑わせるその話術は漫談家にも劣らぬ。政治、経済、社会、文化とその幅広い知識と分析力には感心したが、メディアに対する姿勢はちょっと極端。九死に一生を得たヨット遭難の経験から、命の大切さを力説。今後もコンプライアンス問題など、今日の日本の現状に警鐘を鳴らしながらの活躍を期待したい。

佐世保市南風崎町●横山 春美

■朝テレビでお見かけした方を、夕方夢大学でお話を聞けるとは。謝り方を間違えれば色々な事があると話され、また、テレビの裏側では裁判にもなっていたとは知りませんでした。自分を信じて色々されている辛坊さん。またまたストップをかけられるかと思いますが、私達が知らない事をどんどん話してくださいよう願っている年金受給者です。大笑いした楽しい講演でした。

佐世保市木風町●西 照美

■夢のひろば。子供達の管弦楽の演奏は心地良く、優雅な気持ちになれました。黄色で統一されたひまわり等のお花は、テーマ花火のイメージそのもので良かったです。TVで御活躍の辛坊さんは、ユーモアたっぷり、よどみない話術で一時間半あっという間でした。

佐世保市松山町●本山 早苗

■アルカスSASEBOジュニアオーケストラの素晴らしい演奏。理事長の「日傘男子」の傘にまつわる面白い話。辛坊さんは、早口ながらわかりやすい語り口でのメディアの裏話。しめくりに、「人は一人では生きていけない、すべてのもののおかげで生かされている」と感謝の言葉に感動しました。

佐世保市大和町●宅島 富士彌

■本日の講演会はめずらしく土曜日の開催。たまには、ゆっくりとした時間の開催も良いものだったのは、私だけでしょうか？ 関西弁の独特の語り口に小気味よさを感じつつ、テーマの「あいまいな日本の問題点をスッキリと解く」。たっぷり楽しみ、足取り軽く帰路に着きました。

佐世保市赤崎町●木村 典子

■夢のひろばの「アルカスSASEBOジュニアオーケストラ」のコンサートは、初めてでしたが大変感動致しました。子供達のコンサートは大人に負けず劣らず良かったです。猛暑の夏、癒されました。又の機会を楽しみにしております。辛坊治郎氏の講演会も大変理解しやすく、周りに寝る人も無く、90分面白い授業でした。

佐世保市野中町●川村 信子

人間は生かされているに過ぎない

佐世保市重尾町 白井 寛

辛坊さんの講演を聞いて、我々は毎日、テレビや新聞で色々な情報を見ている筈なのに、まだまだ未知の世界が多い事を実感し、慎重さが足りない事を反省させられた。

まずは「情報問題」。東京が情報空白地域という説明に驚かされた。確かに東京のメディアは権力に近すぎる位置にいるので、かえって正しく情報が国民に伝わらないのかも知れない。

年金システム問題も卑近な事実として、将来に向けては大きな課題。若い現役が多く支払って、高齢者が長生きできるシステム。特に現行の年金が若年層から天引き50兆

円、高齢者への支給年金50兆円、30年後には高齢者への支払いが7割くらいに達するかもとは、驚きだけでは済まされない問題。

特に最近では病理学の進歩で、例えば不治の病といわれてきたガンも、10年後にはガンによる死亡は無くなるといわれる。辛坊さんは将来にわたる日本人のリスクは「長寿」だと断言された。

2012年には京都大学の山中伸弥教授がIPS細胞を作り出すことに成功され、ノーベル賞を受賞された。この成功により10年後には心臓、肝臓、腎臓の難病の改善が期待されるといふ。早く「年金問題、100年の計」を立て、日本の将来に禍根を残さない事が肝要だ。

そこまで言っていていいんかい！ 佐世保版

最後に、辛坊さんは目の不自由なご友人と生死の境をさまよった体験を語られ、「人間は生かされているに過ぎない」「自信を持って遅く生きよ」と結ばれた。今回も人生の生き様を教えられた有意義な講演でした。

リアルでタイムリーな話

北松浦郡佐々町 法本 安子

ジュニアオーケストラの皆さんにブラボー。一生懸命に演奏する姿に拍手喝采でした。

今回の講師は、テレビ司会やコメントーターとして活躍の辛坊治郎氏。所作等々、テレビと同じ、歯に衣着せぬ物言いで、二千人程の来場者を相手に、時には笑いを交えながらの滑舌のいいお話、そこまで言っていていいんかい。

報道の現場に立ち続けるからこそ伝えられる、政治、経済、社会の出来事や問題点について、リアルでタイムリーな話が満載でした。これからの時代の見通しを、癌は完治、臓器は再生、まもなく人生百二十歳まで生きるのが普通になる。但し脳だけは、メモリを移し替えることは出来ないとのこと。興味深い話であった。

最後にヨットマンである自身の遭難事故について触れられた。クジラと思われる生物

と衝突、ヨットが浸水、漂流、生と死をさまよい生還という経験の向こう側に見えてきたもの。それは誰もが自分だけの力で生きているのではない。どこかの誰かに支えられているということ、また、自分もどこかの誰かを支えているのかもしれない。人は生かされているという謙虚な気持ちを忘れてはならないと思う。

夢物語

佐世保市梅田町 森 洋子

自由な大胆に各々が発言するのが売りの「そこまで言う委員会」ですら、10年前とは比べ物にならないと言う。「コンプライアンス」の時代なのである。法令や社会規範を遵守する事。普段の生活でも、正義という名の下で、間違ひ(とされる事)がとことん厳しく追及される世の中なのである。しかし、身近な間違ひがあいまいにされている！

辛坊氏は年金制度の事実を、笑いに包みながら辛辣に伝えられた。周りで聴いていた紳士に目を向けると、全く笑っていなかった様子：。

講演を聴かれた感想をお待ちしています！

「長生きリスク」などと聞き取れなかったに違いない。不老長寿は人類が長年憧れてきた事ではないか。不治と恐れられた癌に対抗する薬も日々研究が進み、再生医療の発展で(心)以外の臓器であれば取り替えることが出来る日も遠くはない。一方で我々は生きていくコストを考えなければならぬ。年金制度は現役世代が限られた範囲でしかなく、逆ピラミッドの人口構成では、現在の形態のままではあり得ない、当たり前だ。

「老後の楽しみ」は我々の世代にとって夢物語になりつつある。少子化が急激に改善される訳でもなく、制度の改正の行方もわからない。移民

を受け入れるのか、AIに仕事を肩代わりさせると同時にベーシックインカムを導入するのか。自分にできる事は、如何に今を味わい楽しみつつ現役生活を続けられるかと考え、工夫をする事くらいだろうか。心と脳の限界という120年に向かって。

少子高齢化と年金問題

佐世保市京坪町 太郎浦 幸子

「アルカスSASEBOジュニアオーケストラ」が平成24年に発足しているのに、今日初めて演奏を聴くことになり少々恥ずかしい思いで演奏に聴き入った。学業の傍ら月に4回の練習を積み重ねておいての由、直向きな演奏に心打たれ、日頃のご精進に敬意を表すべくスポンサーとして応募することに決めた。

さて講師は、5年前に十二指腸癌の手術を受けた人とは思えない程澆測として御登場。原稿どころかメモ一つも手にせず、しばしば会場に笑いを誘いながらの90分は短く感じられた。38年のキャリアはお話の内容に確りと生かされ、特に今日日本が直面している「少子高齢化」「高齢者の年金」については、わが身に降りかかっていることだけにしっかりとうけとめた。

最新の抗癌剤の開発により「癌即ち死」ではなくなったこ



アルカスSASEBOジュニアオーケストラ団員による合奏



ほんとの事ば 教えて！辛坊さん

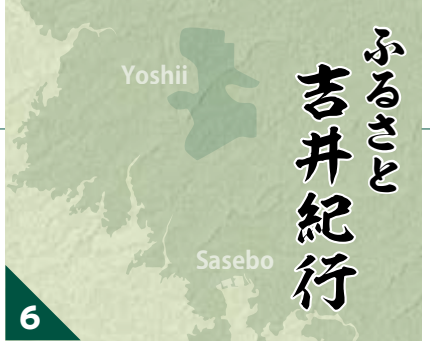
正しい判断は 正しい情報から！

とは喜ばしいことではあるが、コストの面では公私共に大変な負担となる。IPS細胞による治療法により網膜再生なども実現しており、今後の医学の成果が期待される。

講演を聴かれた感想をお待ちしています!!

◎600字程度にまとめてお書きください。短文でも結構です。掲載分にはささやかですが記念品をお送りします。今月の締め切りは次回講演会(11月4日)の関係上、**10月24日(水)必着**といたします。なお、次号は11月2日頃到着予定です。◎せっかく頂いた原稿でも、紙面の都合上掲載されない場合があります。また、一部省略させていただくことがありますので、ご了承ください。

あて先は、〒857-0863 佐世保市三浦町4-30 松蔵ビル3F させぼ夢大学 事務局



直谷城の安徳天皇伝説②

吉井エコツーリズムガイド
和田 隆

そもそも、なぜこの伝説は西日本を中心に四十三カ所も存在するのか。その疑問を紐解いて見たい。

前号で述べたように、安徳天皇は平清盛の外孫に当り、栄耀栄華を謳歌した平氏一門の象徴的な存在であった。その平氏が一の谷や屋島で源氏との戦に相次いで敗れ、ついに壇ノ浦で決定的に敗北する。壇の浦における安徳天皇最期の場面は「平家物語」や「吾妻鏡」に記され、史実とされている。

その平氏一門が滅亡の危機に際し再興を期すのは当然であろう。それには一門にとつて最も求心力のある人物が必要で、安徳天皇こそが相応しいはずである。

一門の再興に必要な象徴的存在の人物は、「替え玉」を使ってでも残す必要がある。そこで入水時か、あるいは壇ノ浦の海戦以前（都落ちの途中、太宰府以降が有力視されている）のいずれかに替え玉がいたとすれば、各地の安徳天皇伝説の根拠となり得る。

また、その伝説が多数存在するのは、三度にわたる敗戦のたびごとに逃散した一門の武将がそれぞれに替え玉を擁立し、鎌倉幕府の追討を逃れる落人であるため世間と隔絶し、隠棲を余儀なくされたためである。

「安徳天皇終焉の地」が多数存在するのも、各地に隠棲する落人群が一門再興の限界を悟ったとき、天皇あるいはその替え玉の最期を祀ったのではあるまいか。

いずれにしても、天皇であれ、替え玉であれ、直谷の地で「内裏」を営んだ人物があったのは事実であろう。そしてこの伝説は、その後地域の歴史や後世の人々の郷土に対する心象に少なからぬ影響を与えたことも、また事実なのである。



壇ノ浦古戦場跡 (山口県下関市)

事務局だより

★辛坊治郎さん、ありがとうございました

アルカスSASEBOジュニアオーケストラの、すばらしい管打合奏・弦楽合奏に続いて登場された辛坊さん。海外出張直後の番組収録後、悪天候の中を無事に長崎空港に到着されました。講演会では、様々な事柄についておなじみの軽妙な語り口の関西弁で話されました。又、最後のご自身の生死を分けた体験についてのお話から、生かされている自分の命に対して、自分がいかに責任を持ってどう生きていくのか、今一度考える機会を頂きました。

★マナーについて

させば夢大学の品位ある学生として、以下の点を今一度ご確認ください。

- ①スマホや携帯電話等「電子機器類」の電源は、確実にお切りください。
- ②今回の講演会は、山形由美さんのフルート演奏です。

18時30分からの演奏中の入場はご遠慮ください。やむを得ず途中入場の際は、曲の合間で必ずスタッフの誘導

によりお入りください。

- ③ 座席取りはおやめください。
- ④ 講演や演奏中の私語は謹んでください。
- ⑤ 写真撮影及び録音・録画は禁止です(著作権法の関係上)。
- ⑥ ホール内での飲食はできません。

★当日学生証発行は、ご本人のみです

講演会当日に学生証をお忘れの方には、「ご本人に限り」当日のみ有効の学生証を発行します。その際のご本人確認は、申し込みされた時の住所・氏名で行っています。それ以外ではご本人確認の方法がありませんので、確認できるものを添えて窓口へご提出ください。

★お知らせ

- ① 1階会場の最後尾列に、車イス等の方のために優先者席をご用意しています。
- ご希望の方は、早めのご来場をお願いします。
- ② 入場後に万一会場を出られる方は、再入場の際にご本人確認のために、学生証カードをいったんお預かりしますので、ご了承ください。

★今月の感想文は10月24日(水) 必着でお願いします。